2019 年11月 27 日
株式会社シャノン

第46回東京モーターショー2019のプレス用来場システムに「SHANON MARKETING PLATFORM」が採用されました

株式会社シャノン(本社:東京都港区、代表取締役社長:中村 健一郎、証券コード:3976、以下シャノン) は、一般社団法人日本自動車工業会(本社:東京都港区、会長:豊田章男、以下、自工会)が「第46回東京モーターショー2019」のプレス用来場システムに、「SHANON MARKETING PLATFORM」が採用されたことを発表します。

OPEN FUTURE
TOKYO MOTOR SHOW 2019

1.第46回東京モーターショー2019とは

自工会は東京ビッグサイト(青海・西・南展示棟)、MEGA WEB、シンボルプロムナード公園等において「第46回東京モーターショー2019」を 10 月 24 日(木)から 11 月 4 日(月・休)までの 12 日間の会期で開催しました。

46回目を迎えて今回のショーは「OPEN FUTURE」をテーマに、世界でグローバルに活躍する総勢 192 企業・団体が参加、業界を超えてオールインダストリーで「クルマ・バイクのワクワクドキドキ」から「未来の暮らし」「未来の街」にまで領域をひろげ、1,300,900 名の方々がご来場されました。

2.SHANON MARKETING PLATFORM とは

(https://www.shanon.co.jp/products/)

SHANON MARKETING PLATFORM は、マーケティングの統合データ管理・活用を実現するクラウドアプリケーションです。申込フォームや告知サイトの作成、セミナー/イベントでの申込・来場管理、名刺情報管理、キャンペーン運営業務やメール配信など、マーケティング業務全般の一元的な実施・管理を実現します。

オンライン・オフラインを問わず、行動履歴を自動で見込み客データと紐づけて蓄積データの管理を一本化。属性や履歴を横断したリードの検索・抽出やスコアリング機能でリード評価の品質を向上させることにより、商談機会の創出に貢献します。

また、データを可視化する標準ダッシュボードも搭載。企業単位でのマーケティングデータ管理やマーケティング成果の予実分析などの高度なデータ分析を実現し、マーケティングに必要なデータクレンジングやシナリオ機能を充実させ、さらに国産主要 CRM/SFA との連携による営業サイドと連動するなど企業のマーケティング支援行うことができます。

商号	：株式会社シャノン(証券コード:3976)
代表者	：代表取締役社長　中村 健一郎
所在地	：東京都港区三田 3-13-16 三田 43MT ビル4階
設立年月日	：2000 年 8 月 25 日
事業内容	：クラウド型マーケティングソリューションの企画・開発・販売・サポート マーケティングにかかわるコンサルティングおよびサービスの提供
URL	：https://www.shanon.co.jp/